

高齢者の外出支援を

えんど市議が紹介した
アンケートに寄せられた声

お年寄りがタクシーに乗れるよう補助体制を作ってほしいです。10%引き券などの配布を検討していただきたいです。

大分でできているワンコインバスがあればもっと皆が外に出ていき消費力をアップするのではないかと思います。

駐車場が少ないので高齢者の運転自粛等のためにもワンコインバスがあれば外出しやすい。

えんど久子市議は、日本共産党市議団の市民アンケートでワンコインバスなどの高齢者の外出支援を求める声が多いことを紹介し、市が行なったニーズ調査の結果について質問。
高齢者福祉課長は「どのような外出支援を希望するかの問いに、要支援者ではバス23.4%、タクシー42%、要介護者ではバス13.9%、タクシー34%という結果だった」と答弁しました。

要介護・要支援者は
タクシーを希望

猿渡（えんど）久子市議は、12月市議会の議案質疑と一般質問で、高齢者の外出支援の実現などについて、日本共産党市議団の市民アンケートに寄せられた声を紹介しながら質問しました。

「公共交通活性化協議会を作るための予算が提案されているが、遅いのでは。先日の議案質疑で27年度に計画を作り28年度から内容を検討するという答弁があったが、もっと早く進められないのか」と、えんど市議は早い時期の実施を求めました。
企画部長は「できるだけスピード感を持って最善を尽くしていきたい」と答弁しました。
日本共産党は今後とも早い時期の実現に向け、みなさんと一緒にがんばります。

スピード感を持ち最善を



2015年元旦午前0時より朝見神社の参道で新年のご挨拶をする竹内よしひろ、えんど久子、平野ふみかつ。



文化的な美しい街づくりを

別府は文化的なまちだったはず

えんど久子市議は、12月4日の一般質問で

「市民の方から別府は昔はもつと文化的なまちだったのに、と声をいただいた。中央公民館の隣の市民ギャラリーは中央公民館のオープン時に再開するとのことだが、いつまでも今のままというわけにはいかない」と新しい美術館を早い時期に具体

化するように求めました。「市民ギャラリーも美術館も老朽化しており現状のまま運営していくことは困難。厳しい財政状況ではあるが、施設の建て替えも含め、別府市にとって文化的なまちづくりには何かが必要か内部協議を進めている」と答弁がありました



別府は温泉ばかりでなく、文化都市としてアピールすべき。

国際文化都市に恥じないような総合的な取り組みがほしい。

えんど久子市議は、市民アンケートに寄せられた街の美化を求める声を紹介し、一斉清掃の一層の啓発を求めるとともに、全庁的に各部署で市民と一緒に美化に取り組むべきではないかと、述べました。環境課参事は「いっそう住民参加を呼びかけ、さらなる美化活動の推進をすすめていきたい」と答弁しました。

道路のグリーンベルト、両サイドの草が目立つ。昔はもつときれいだっただのに。草を刈る費用が出せないのでしょうか。国際都市を目指すなら草むしりをして道路を美しくしましょう。

まちの美化を求める声多数



福岡県から引っ越してきたが、草や木がボーボーで驚いた。道路脇や道ばた等。

町がゴミで汚い。たばこのポイ捨て、雑草が多い公園。

街中がゴミだらけで清潔でない

犬の小便や猫のフンなどで不潔